

「女性と人権」講座

女性と子どもの貧困を考える

国が発表している子どもの貧困率は年々悪化し、今、6人に1人、国が基準としている貧困ライン（一人世帯122万未満）以下で暮らしています。子どもの背景にあるのが女性の貧困で、日本のひとり親世帯の8割以上が母子家庭で、全体の半数以上が貧困ライン以下の状態にあるといわれています。そうした世帯で育った子どもは、成人しても貧困状態に陥ることが多く、さらなる連鎖を生む悪循環が起きています。

そこで、この現実の背景にある課題を探り、次世代へ貧困の連鎖を生まない社会のあり方を考えます。

日時 2016年5月7日（土）14:30～16:00

会場 エル・パーク仙台 セミナー室

講師 菅田賢治さん（全国母子生活支援施設協議会 副会長）

1984年、日本福祉大学卒業後、翌年「仙台母子寮（現 仙台つばさ荘）入職。少年指導員、母子支援員、施設長と歴任。現在は社会福祉法人仙台市社会事業協会副会長兼常務理事として法人の運営に携わると共に、母子生活支援施設仙台つばさ荘の施設長を務める。社会保障審議会児童部会社会的養護専門委員、仙台市ひとり親家庭自立支援計画協議会座長。著書 子どもの発達・アセスメントと養育・支援プラン（明石書店2013）、母と子のきずな（三学出版2007）

*参加費 無料

*定員 30名（先着順）

*参加申込 特定非営利活動法人イコールネット仙台

TEL 090-1398-5065（佐藤）

FAX 022-271-8226

emuna@ve.cat-v.ne.jp

*申込締切 4月30日（土）



主催 特定非営利活動法人 イコールネット仙台